

なぜヘビ化石???

自然・環境評価研究部 地球科学研究グループ

池田 忠広



私は国内では数少ない（おそらく私だけかもしれませんが）ヘビ類の化石を専門としています。現在では、カエル類やトカゲ類といった小型両生爬虫類の骨や化石の研究にも取り組んでいます。私の研究の原点は、大学学部時代にさかのぼります。学部3年の後期に、希望していた脊椎動物学講座への配属が決まりました。その後、指導教員と研究テーマについて相談する機会があり、次のようなやり取りがありました。

先生：「何が研究したいの？」

私：「恐竜です！」

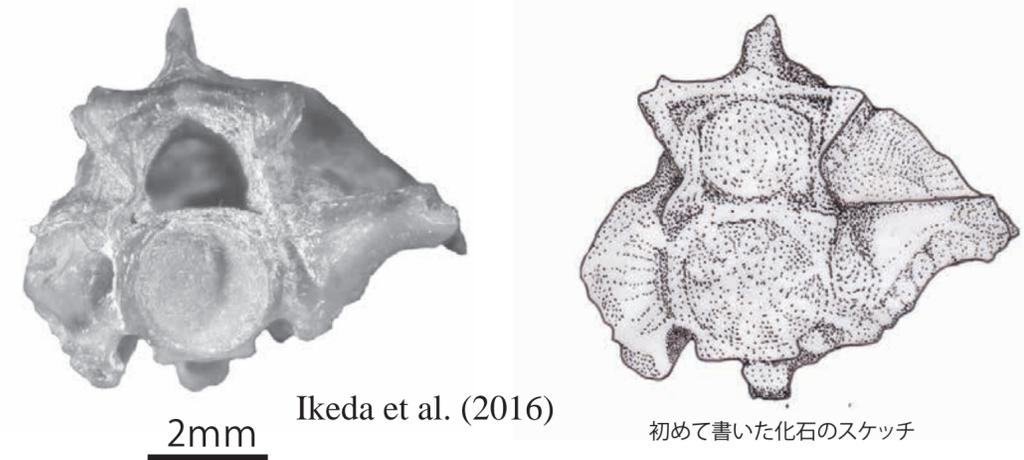
先生：「は？無理。やりたければアメリカにでも行きなさい。」

私：「……。それでは何ならできますか？」

先生：「うーん、ヘビならいいよ。私は長いものが嫌いだし。」

私：「わかりました！やらせてください。」

学部時代から研究を始めたヘビ類の椎骨化石



沖縄島今帰仁村呉我山産 前期更新世 *Dinodon* sp.

このような経緯で研究テーマが決まりました。私は古脊椎動物の化石を研究したくて進学したので、脊椎動物であれば何でもよいかという気持ちもあり、比較的素直に先生の提案を受け入れました（ほかに選択肢もありませんでした）。しかし、この選択こそが現在の研究者人生の基盤となり、その後続く多くの苦悩は、この時点では知る由もありませんでした。次回、もし機会があれば、「なぜヘビ化石の専門家が国内にほとんどいないのか」という裏話についてもお話ししたいと思います。